

【生薬名】 天門冬 *ASPARAGI RADIX*

【起源植物】 天門冬 *Asparagus cochinchinensis*



【科名】 天門冬科 *Liliaceae*

【別名】 草杉蔓

【薬用部分】 コルク化した外層の大部分を除いた根

【主成分】 サポニン、 β シトステロール、澱粉、多糖体

【薬性】 気味甘苦大寒は、帰経は肺腎に属す

【効能】 ●滋陰潤燥・清熱化痰

●鎮咳、利尿、便通、強壯

●肺を潤し、痰を去り、咳を止める

●1日6～15gを煎服する

●陰虛火旺とくに虚熱の咳嗽によい、たとえば老人など虚した人の慢性気管支炎などで粘痰が粘る、喀出しにくい、慢性の咳嗽などによい

●抗菌作用、抗腫瘍作用を示す、インターフェロン誘起作用

●薬用酒は滋養強壯、虚弱体質の体力増強に常用すると良い

【出典】 ●天門冬 甘寒、肺痿、肺癰、痰を消し、嗽を止め、喘熱功有り。
(薬性歌)

●天門冬 一名顛勒 味苦平 生山谷 治諸暴風濕偏痺 強骨髓 殺三蟲 去伏尸 久服輕身益氣延年 (神農本草經上品)

【備考】 ●天門冬は、肺を清め、腎を壮んにし、陰を滋し、渴を解するもので、肺腎の虚熱を除去する薬物である。上焦に作用して心熱を清め、肺火を降し、痰熱を化し、肺熱喘咳、吐血口渴を治すのに用いる。また下焦に作用して陰を治し腎水を壮んにし、燥を潤し便を利す。

【処方例】 ●滋陰降下湯、滋陰至宝湯、清肺湯、瓊玉膏、麻黄升麻湯、二冬膏